

まちづくり交付金 フォローアップ報告書

な ば り ち く
名張地区

平成21年10月

三重県名張市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	街並みの美しさに関する満足度	20%	60%	33%	確定 見込み ●	△	あり なし ●	51.2%	H21年9月	△	事業期間内でのファサード整備等の支援計画が出来なかったため。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	本地区に歴史的な街並みが残ることが、全市的にも認識され始めている。
指標2	歩行者等の道路通行の安全性に関する満足度	18%	60%	19%	確定 見込み ●	×	あり なし ●	27.9%	H21年9月	△	散策道及び幹線道路の一部の歩道を整備したものの、まだ、未整備の歩行帯が存在するため。	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	通過車両・路上駐車等の減少が図れるよう、継続的に関係者と取り組んでいく。
指標3	伝統・文化遺産等の保護、活用に関する満足度	25%	60%	45%	確定 見込み ●	△	あり なし ●	59.5%	H21年9月	△	登録文化財や旧細川邸やなせ宿の一体的なPR不足のため。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	本地区内の歴史的な資源に関する価値が認識され始めた。
指標4	広場・公園の整備に関する満足度	30%	60%	23%	確定 見込み ●	×	あり なし ●	31.0%	H21年9月	△	当該地区は旧市街地であるため、元々、広場・公園の未整備が多く、本地区で一部実施したものの、まだ、公園・広場が少ないため。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	本地区の公園・広場等を活用したイベント等の開催について継続的に関係者と取り組んでいく。
指標5	商業・サービス業の振興、整備に関する満足度	16%	60%	15%	確定 見込み ●	×	あり なし ●	19.2%	H21年9月	△	名張市旧細川邸やなせ宿を活用した賑いのある事業振興に寄与したが、抜本的には振興策の展開には至らなかったため。	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	現存する老舗や空き家・空き店舗を活用した新しい取り組みについて継続的に関係者と検討・協議していく。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	事業地区内の有形登録文化財(建造物)の登録件数	件	0	7	確定 見込み ●	/	/	10	H21年9月	/	有形登録文化財制度活用の利点が認識され始めた	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	「指標1:街並みの美しさに関する満足度」・「指標3:伝統・文化遺産等の保護、活用に関する満足度」を補完する効果が得られたと評価できる
その他の数値指標2	既存建造物(名張市旧細川邸やなせ宿)来館者数	人/年	-	12,000	確定 見込み ●	/	/	20,448	H21年6月(H20年6月~H21年5月)	/	本地区の交流拠点としての認識が浸透した	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	1
その他の数値指標3					確定 見込み ●	/	/		H 年 月	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
・成果を持続させるために 行う方策	既成市街地に現存する地域資源のPR及びまち並み散策の回遊性・快適性の向上	・フォローアップ意識調査に併せて、既成市街地を紹介するパンフレット(名張まちなか見所案内)を発行。 ・名張市観光協会との連携による「名張観光まち歩き事業」の実施	・本地区内の地域資源等の認識の拡大につながった。 ・観光ガイドの資質向上、ガイド養成、ガイドの紹介等の事業を通じ観光ガイドへの理解者が増え、新規で3名の登録があった。	・名張まちなか見所案内パンフレットの内容を広く市民に知ってもらうため、今後も持続的なPR活動が必要。
	まちなか再生の拠点施設(名張市旧細川邸やなせ宿)の活用	・民間活力による、子どもからお年寄りまででの広い利用者を対象にしたコミュニティビジネスや交流イベントを行った。(コンサート、地域物産、親子教室、郷土史教室、お雛様展示、ワンディシエフなど)	・事後評価時の直近3ヶ月の利用者数による推計値を大きく上回った(約1.7倍)。	・旧細川邸やなせ宿利用者が、まちなかを散策し、本地区における滞在時間が少しでも長くなるような企画が必要である。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	歴史的な都市空間を体感できる取り組み	・名張市観光協会と連携した名張観光まち歩き事業の実施。 ・名張市景観計画の策定にむけた景観資源調査や庁内検討会議の開催。	・名張市観光協会と連携し、来訪者に対する情報提供体制を強化するため、観光案内所機能の充実を行った。 ・名張地区の景観資源の調査とりまとめ、及び庁内検討会議を4回行った。	・地域資源を紹介するPR活動等について、持続的に取り組む必要がある。
	歩行者の安全性及びの回遊性・快適性の更なる向上	・名張地区まちづくり推進協議会による、路上迷惑駐車一掃キャンペーン運動の実施。	・一定の区間であるが、路上駐車は減りつつある。	・歩行者の視点にたった危険箇所の点検や路上駐車の抑制に向けた取組を名張地区まちづくり推進協議会と連携し継続する必要がある。
	アメニティ施設(公園・広場・ポケット広場等)の活用促進	・名張地区まちづくり推進協議会との連携による隠(なばり)街道市の実施にともなう、ポケット広場等のイベントスペースとしての活用。 ・名張地区まちづくり推進協議会による、ポケット広場の清掃、花いっぱい事業の実施。	・旧細川邸やなせ宿(前面のポケット広場も含む)利用者は街道市一日で約2,000人に及んだ。 ・ポケット広場に潤いが増し、ベンチで休憩する風景もみられるようになった。	・地区内の公園・広場等を活用した社会実験などを、名張市観光協会や名張地区まちづくり推進協議会等と連携し、実施していく必要がある。
	駐車場施設の適切な情報提供	・名張まちなか見所案内パンフレットへの駐車場の明記。 ・公共施設の移転に伴う跡地活用としての、駐車場施設新設の検討。	・隠(なばり)街道市における本地区内駐車場への誘導等を通じ、地区内駐車場施設からまちなかへ散策意識がうまれつつある状況。	・本地区内に来訪者を誘導する拠点となる駐車場を検討する必要がある。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
名張地区の広報活動の実施	名張地区の初瀬街道のまちなみ・既存施設・イベント等について、本地区へ来訪していただくように地域と連携して、広報活動を実施していく。	平成21年11月～	まちづくり交付金事業事後評価等にもなうアンケートを契機として、今まで名張地区に来訪したことのない市民が、本地区を来訪する状況がみられる。まずは本地区を多くの市民に知って頂き、また訪れて頂き、整備の内容を体感して頂くことが重要であることから、今後も広報活動を実施していく。